スイス　ツェルマットホームステイの思い出

三浦雄貴

僕は富士河口湖町の中学 2 年生で、今年の夏に行われた「富士河口湖町姉妹都市中学生派遣交流事業」に参加しました。富士河口湖町とスイスのツェルマットは姉妹都市で、参加者は全部で 15 名いました。ホームステイは全員が体験しましたが、僕は中学 3 年生の浅利康裕君とペアになり、メンデスファミリーにお世話になりました。初めてのヨーロッパのスイスということで、出発前から胸が高なっていました。

朝早く、町役場を出発して成田空港へ向かい、長いフライトを経てチューリッヒ空港に到着しました。ホテルに着いたころには時差のせいで体が重かったのですが、夕食のホットサンドとフレンチフライがめちゃくちゃ美味しくて、時差や疲れがふっとぶほど元気になりました。人生で初めての海外の食事がとても美味しく、気持ちが一気に明るく、元気になりました。

翌日はユングフラウヨッホ展望台に行きました。雪と氷の世界が広がり、まるで別の星に来たような景色でした。展望台から見える大きな氷河はとても美しく、僕は日本で調べたとき、この氷河が年々小さくなっていることを知りました。実際に目の前で見ると、その事実が急に自分ごとになったように感じ、胸がぎゅっとなりました。僕は一人の力では何もできないけれど、これからの生活でできるだけ無駄を減らしたり、環境に気をつけたりして、50 年後や 100 年後には少しでも改善して欲しいと強く思いました。

その後ツェルマットに移動し、メンデスファミリーと会いました。中学生のロドリゴ君はとても明るく、最初は少し緊張したものの、すぐに仲良くなることができました。ホームステイ中には、マッターホルンを望むゴルナーグラート周辺で、電車を一駅分だけ下りてハイキングをする体験もしました。高い山々に囲まれた道を歩くのは気持ちよく、日本では味わえない景色にとても感動しました。

ツェルマット滞在の最終日は村内のホテルに 1 泊し、その夜、すべてのホストファミリーが出席するさよならパーティーに参加しました。みんなで話したり写真をとったりして、別れがさびしくて少し泣きそうになりました。その後はベルンを見学し、最後にチューリッヒで 1 泊してから帰国しました。

この交流訪問で、僕は外国の文化にふれ、新しい友だちができ、とても大きな経験になりました。いつかまた必ずツェルマットに行きたいと思っています。